様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月30日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒279-8511

住　所　千葉県浦安市舞浜1番地1

氏　名　株式会社オリエンタルランド

代表取締役社長　吉田　謙次

電話番号　047-305-5008

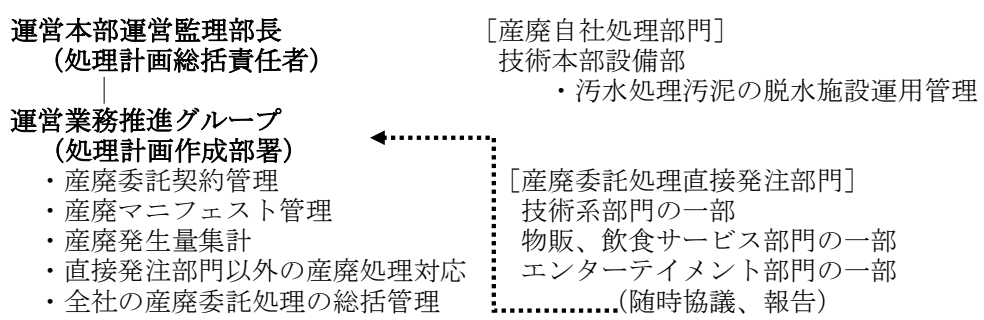
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社オリエンタルランド 東京ディズニーランドおよび東京ディズニーシー
事業場の所在地	千葉県浦安市舞浜1番地1
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	N－生活関連サービス業，娯楽業
②　事業の規模	売上高：618,493百万円（令和6年3月期）
③　従業員数	25,661名（令和6年3月31日現在） [内訳：正社員、テーマパークオペレーション社員5,631名/準社員、出演者20,030名]
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	【別紙1】のとおり。

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
排出量	1068.00 t	67.40 t

（これまでに実施した取組）

汚泥：グリストラップの清掃実施、汚泥搬出量を抑制した。
令和4年度まで自社汚水処理施設においては、流動担体の導入（処理の効率化）および下水処理にて対応していたため脱水汚泥の発生がなかった。令和5年度は10数年ぶりに脱衣機を稼働させた(3回)事による実績数値を計上している。

廃油：廃鉱物油、廃食油の有価売却を促進した。
廃食油の選別徹底等により下油の搬出量削減をはかった。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
排出量	1450.00 t	67.00 t

（今後実施する予定の取組）

汚泥：昨年同様の取り組みを継続実施する(入園者数により変動する)。
令和6年度も自社汚水処理施設における脱水機を年8回稼働させる予定。

廃油：昨年同様の取り組みを継続実施する(入園者数により変動する)。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

分別強化（発生時および選別施設での作業）により産廃から有価物への転換を推進している。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

上記取り組みを継続実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t

（これまでに実施した取組）
実施なし。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t

（今後実施する予定の取組）
実施予定なし。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	333.69 t	0.00 t

（これまでに実施した取組）
汚泥：令和4年度まで自社汚水処理施設においては、流動担体の導入（処理の効率化）および下水処理にて対応していたため脱水汚泥の発生がなかった。令和5年度は10数年ぶりに脱衣機を稼働させた(3回)事による実績数値を計上。
廃油：実績なし。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	720.00 t	0.00 t

（今後実施する予定の取組）
汚泥：令和6年度においても自社汚水処理施設における脱水機を年8回稼働させる予定。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t

（これまでに実施した取組）
実績なし。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t

（今後実施する予定の取組）
予定なし。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
全処理委託量	734.31 t	67.40 t
優良認定処理業者への処理委託量	685.29 t	4.09 t
再生利用業者への処理委託量	23.34 t	63.31 t
認定熱回収業者への処理委託量	25.68 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t

（これまでに実施した取組）
汚泥：再生利用業者への委託を推進した。
廃油：再生利用業者への委託を推進した。また、有価売却した。

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">産業廃棄物の種類＿</td><td>汚泥</td><td>廃油</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">全処理委託量＿</td><td>730.00 t</td><td>67.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>690.00 t</td><td>7.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>25.00 t</td><td>60.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>15.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
汚泥、廃油ともに優良認定処理業者および再生利用業者へ処理委託を推進する。また、有価売却する事も推進する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

【別紙1】
産業廃棄物処理計画書（第1面）
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

④産業廃棄物の一連の処理の工程

発生業務	品目No.	委託処理産廃
汚水処理	A	水処理設備清掃汚泥
	B	水処理設備無機汚泥
	C	水処理設備砂槽汚泥
施設・設備・機器等管理	D	厨房グリストラップ汚泥
	E	アトラクション等水路清掃汚泥
	F	ごみ処理施設地下ピット汚泥
	G	ビルピット汚泥
	H	メンテナンス系汚泥
	I	給油所トラップ廃油
	J	メンテナンス系廃油・廃液
	K	メンテナンス系廃材
	L	ショー関係廃材
物販・飲食サービス	M	廃食下油
	N	浄水フィルター
	O	厨房機器類
	P	店舗什器
	Q	混合廃棄品
	R	木製パレット
	S	廃食器類
その他清掃・サービス全般	T	汚損ビニール等
	U	廃プラスチック類
	V	金属ごみ
	W	割れ物
管理・事務	X	OA機器類
	Y	オフィス家具・備品・什器

種類	中間処分	最終処分	該当品目
汚泥	生物処理	再生・軽量骨材埋立	A・D・G
	薬注固化	埋立	B
	脱水	再生・セメント原料	C
	コンクリート固化	埋立	E
	焼却	埋立	F
	焼却	再生・電力、スラグ等	N・Q
	焼却	再生・路盤材	H
廃油	油水分離	再生・再生油	I・J
	油水分離	再生・飼料、工業用	M
廃プラスチック類	破砕	再生・ボイラー燃料	K・L
	破砕	再生・プラスチック原料	L・O・U・X・Y
	破砕	再生・固形燃料	L・P・Q・T・U・Y
	破砕	埋立	L・P・Q・U
	焼却	再生・電力、スラグ等	Q・U
木くず	破砕	再生・ボイラー燃料	K
	破砕	再生・燃料チップ	R
金属くず	破砕	再生・金属製品、製鉄原料	K・L・O・V・X・Y
	焼却	再生・電力、スラグ等	Q
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	焼却	再生・電力、スラグ等	Q
	破砕	再生・路盤材	S
	破砕	再生・グラスウール	K
	破砕	埋立	W

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず				
		排　出　量	1210.17 t	115.94 t	5.25 t	9.46 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	木くず	・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器				
		排　出　量	1200.00 t	110.00 t	5.00 t	9.00 t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	木くず	・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器				
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	木くず	・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器				
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	木くず	・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器				
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	木くず	・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器				
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	木くず	・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	木くず	・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	木くず	・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器				
	全処理委託量	1210.17 t	115.94 t	5.25 t	9.46 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1105.48 t	115.94 t	4.60 t	9.44 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	87.72 t	0.00 t	0.65 t	0.02 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	16.97 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	木くず	・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器				
	全処理委託量	1200.00 t	110.00 t	5.00 t	9.00 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1100.00 t	100.00 t	4.50 t	8.00 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	90.00 t	10.00 t	0.50 t	1.00 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	10.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t